

体育科学習指導案

八尾市立中高安小学校
指導者 鈴木 義行

1. 日 時 : 平成24年2月8日(水) 5校時(13:45~14:30)

2. 場 所 : 八尾市立中高安小学校 運動場(雨天:体育館)

3. 学年・組 : 第4学年1組(男子13名 女子10名 計23名)

4. 単元名 : フラッグフットボール(ゲーム~ゴール型ゲーム~)

5. 単元の特性

フラッグフットボールは、アメリカンフットボールを簡略化した陣取りゲームであり、その面白さを子どもたちが安全に味わうことができる。

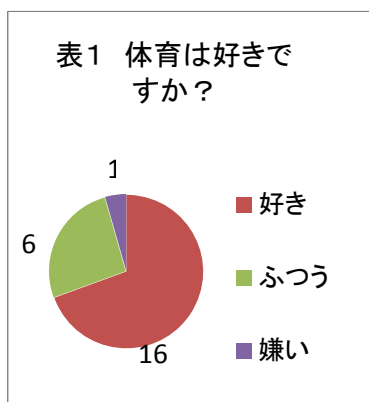
一般的にボール運動は「ボール操作の技能」と「ボールを持たない動き(戦術的行動)」に分けられる。フラッグフットボールの「ボール操作の技能」としては、「投げる」「捕る」のみの動きから成立し、ボールを持ったプレイヤーは自由に移動することができる。また、ゴールにボールを持ち込むことで得点することができる。次に、「ボールを持たない動き(戦術的行動)」について、この球技では「ボールを持たない動き」を鬼遊びを活用して練習でき、さらにグループで練習・作戦の組み立てなどの活動もすべてできる。

この球技ではバスケットボールやサッカーのように、難しいボール操作は不要であり、運動の得手不得手を問わずに誰もが楽しむことができる。

6. 指導にあたって

本学級の児童に、アンケートを行ったところ次のようになった。

体育は好きですか？

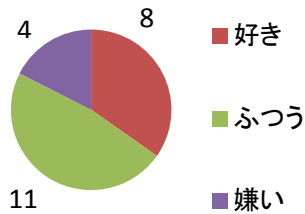


- 結果
好き(16人) ふつう(6人) 嫌い(1人)
- その理由は？
好きな理由 ・運動が好きだから(9人)
・楽しいから(4人)
・体を動かすことが好きだから(3人)
嫌いな理由 ・鉄棒・マット・跳び箱が嫌だから(1人)

「体育は好きですか？」という質問に対して、ほとんどの児童が体育を「好き」もしくは「ふつう」と答え、「嫌い」と答えた児童はわずか1人であった。(表1参照) このアンケート結果からも分かるように、体を動かすことが大好きで非常に活発な子どもたちである。本単元ではその意欲を大切にしながら、グループで互いに助け合い、全ての児童が「体育が楽しい」と思えるような活動にしたい。

鬼ごっこは好きですか？

表2 鬼ごっこは好きですか？



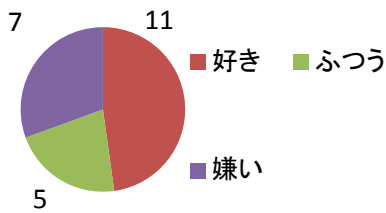
- 結果
好き (8人) ふつう (11人) 嫌い (4人)
- その理由は？
 好きな理由
 - ・逃げるのが好きだから (2人)
 - ・追いかけるのが好きだから (2人)
 - ・楽しいから (2人)
 - ・面白いから (2人)
- 嫌いな理由
 - ・鬼になると大変 (2人)
 - ・好きだけど、足が遅いから (1人)
 - ・1人狙いされるから (1人)

鬼ごっこが好きな児童は、約3分の1程度である。(表2参照) 好きな理由として、「逃げるのが好きだから」「追いかけるのが好きだから」「楽しいから」「面白いから」などをあげている。走る経験で感じたことが好きな理由の大部分を占めており、達成感を感じて好きになったと考えられる。

残り約3分の2の児童が鬼ごっこを「ふつう」・「嫌い」と考えている。(表2参照) 理由として、「鬼になると大変」「好きだけど、足が遅いから」「1人狙いされるから」などをあげている。自分の走力が弱いために、面白くないと感じてしまうと考えられる。しかし、フラッグフットボールは、①パスゾーンでパスができるので1人狙いされないという点、②作戦によってどの児童も点が取れるという点、③コート内を走るために走れる場所が決まっているという点で鬼ごっこが嫌いな児童でも楽しめるスポーツであると考えられる。

仲間と作戦を立てることは好きですか？

表3 仲間と作戦を立てることは好きですか？



- 結果
好き (11人) ふつう (5人) 嫌い (7人)
- その理由は？
 好きな理由
 - ・チームが強くなるから (7人)
 - ・前の作戦と比べて修正していけるから (2人)
 - ・協力できるから (2人)
- 嫌いな理由
 - ・作戦が失敗したら怒られるから (2人)
 - ・みんなに決められるから (5人)

仲間と作戦を立てるのが好きな児童は約5割である。(表3参照) 好きな理由としては、「チームが強くなるから」「前の作戦と比べて修正していけるから」「協力できるから」などがあげられる。嫌いであると答えた児童は、「作戦が失敗したら怒られるから」「みんなに決められるから」などの理由があげられる。児童の頭の中には、「作戦＝運動が得意な子による指示」になっている。そのため、運動が好きな児童でも、チームになると指示に従ってしまっ、自主的に仲間と共に高め合うことがしっかりと身につけていないと考えられる。

そこで、練習メニューを少人数で取り組む内容からスタートし、徐々に人数を多くしていくことで達成感を味わわせ、作戦の大切さを実感させたい。さらに、友だちの良いところを見つけたり、真似したりすることで、コミュニケーション能力を高めていきたい。プレイヤー全員が役割を持って参加できるので、全員で作戦を話し合い、みんなで協力して成功する「集団的達成」の喜びを体験させたい。

7. 目標

運動や健康・安全への関心・意欲・態度

- 規則を守り、安全に気を付けて友達と協力して楽しくゲームを行い、勝敗を素直に認めることができる。

運動や健康・安全に対する思考・判断

- チームで協力して規則を工夫したり、攻め方や守り方の作戦を工夫したりして、ゲームをすることができる。

運動の技能

- フラッグフットボールを楽しむために必要な攻め方や守り方などの簡単な技能を身に付けることができる。

8. 指導計画と評価規準

時間	1	2	3	4	5	6	7 (本時)	8
ステージ	オリエンテーション	基本の運動を理解する			基本の運動を練習する			フラッグフットボール大会
ねらい	・学習のねらいがわかる。	・自分のめあてをもって運動ができる。			・自分のめあてをもって運動ができる。 ・仲間と教え合うことができる。			・フラッグフットボールを楽しむことができる。
主な活動	・準備運動 ・学習のねらいや進め方を知る。 ・安全な活動の仕方を知る。 ・ボール渡しゲーム ・チーム編成 ・整理体操	・準備運動 ・補強運動 ・めあてを確認し用具を準備する。 ・各練習のポイントを押さえ、チームごとに練習をする。 ・整理体操 ・片付ける。			・準備運動 ・補強運動 ・めあてを確認し用具を準備する。 ・チームごとにサーキット練習を行う。 ・フラッグフットボールの試合をする。 ・整理体操 ・片付ける。			フラッグフットボール大会
意欲 関心 態度	・安全に活動するためのマナー、練習をする上での約束を理解しようとする。	・自分達のめあてを決めて楽しさを味わおうとしている。 ・チームでの話し合いに積極的に参加できる。 ・安全を意識して活動することができる。 ・仲間のできたところを認め合える。						
思考 判断	・学習の見通しがもてる。	・練習や試合の行い方を理解し、簡単な作戦を立てることができる。			・ルールや作戦を工夫してゲームをすることができる。			
技能	・フラッグの取り扱いができる。 ・ボールに慣れる。	・フラッグフットボールの基本的なボール操作や動き方ができる。			・ボールを持って走ったり、パスをもらえる場所に動いたりしてゲームをすることができる。			

9. 本時の目標

- ・ 作戦を工夫してゲームをすることができる。(思・判)
- ・ 友達と協力して、ルールを守り練習をすることができる。(意・関・態)
- ・ ボールを持って走ったり、パスをもらえる場所に動いたりしてゲームをすることができる。(技)

10. 本時の展開

学 習 活 動	支 援	評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高体操をする。(縄跳びは省略) ・ 補強運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ けが防止という意識をもって行うよう声かけをする。 ・ 運動に支障のないようにしっかり体をほぐすように声かけする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて1 チームごとに協力して苦手な動きを克服しよう</div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合し、めあて1を確認する。 ・ 得意な技や苦手な技をチームでアドバイスし合いながら練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手な児童を中心に声をかけ、アドバイスしたり励ましたりする。 ・ 楽しい雰囲気の中で練習ができるようにBGMを流す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちで協力して練習することができる。(意・関・態)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて2 作戦を立てて、フラッグフットボールを楽しもう</div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合し、めあて2を確認する。 ・ ゲームを行う。 ・ 作戦タイムを取る。 ・ ゲームを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作戦を立てたが機能しないチームについては、作戦タイム中に具体的な助言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空いている味方にパスをしたり、空いているスペースに動く事ができる。(技) ・ 作戦を工夫してゲームをすることができる。(思・判)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のまとめをする。 ・ 整理体操をする。 ・ 後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良い動きを見つけ紹介する。 ・ 体をゆっくりとほぐさせる。 	

準備物 : 教師

ボール12、フラッグ、カセットデッキ、得点板2
コーナープレート8(雨の場合)

児童

学習カード

11. 雨が降った場合

- ・ 体育館で行う。
- ・ バasketボールのコートを使うので、多少狭くなる。